

本校の教育について

1 学校教育目標

- 心身ともに健全で広い視野に立つ日本人
(として社会に貢献できる生徒の育成)

2 具体目標

- ◇スローガン 「若き誇り いのち輝く 仁多中学校」(校歌より)
三本柱 ○勉強をする
○友だちを大切にする
○健康に気を付ける

3 経営の基本方針(めざす学校像)

- 生徒が行きたいと思う学校
「だれもが安心して生活できる学級・学校」づくりをめざし、「進路保障」を柱とした人権教育の推進により、一人一人を大切にされた教育活動の推進に努める。
- 保護者が行かせたいと思う学校
「学校は子どものためにある」という考え方を大切にし、生徒や保護者、地域住民との信頼関係を構築し、生徒とのふれあいを大切にしながら、明るく、活力ある学校づくりをめざす。
- 地域が応援したいと思う学校
「地域の中にある学校」の考えを大切にし、学校と家庭、地域との連携を深め、地域に開かれ、信頼される学校づくりをめざす。
- 教職員が働きたいと思う学校
相互信頼の上に立つ職員の和と協働体制を確立し、明るく活力のある職場づくりにつとめる。

4 めざす生徒像 (勉強をする)(友達を大切にする)(健康に気を付ける)

- 礼儀正しく、思いやりのある心豊かな生徒
- 自ら学び、考えを深め、表現できる生徒
- 心身を鍛え、たくましく、粘り強く生きようとする生徒
- 人とかかわりをとおして、共に成長していく生徒
- ふるさとへの愛着と誇りをもち、未来を切り拓こうとする生徒

5 めざす教職員像 (隠れたカリキュラム)(子供に気づく)

- チーム仁多中の一員としての誇りをもち、共に、信頼関係づくりに努め、積極的に行動する教職員
- 鋭い人権感覚をもち、生徒や同僚を大切にする教職員
- 生徒・保護者・地域に信頼される教職員
- ワーク・ライフ・バランスがとれ、心身ともに健康な教職員

6 学校経営の重点

- 知・徳・体のバランスがとれ、感性豊かで、主体的に行動できる生徒の育成
- 自己有用感を高め、互いに認め合い、高め合うことのできる生徒の育成
- ふるさとへの愛着と誇りをもち、地域の一員として、貢献しようとする生徒の育成

7 指導の重点(本年度の基本姿勢)

- ◇自己有用感を高める場の意図的設定
- ◇一人一人の人権が尊重され、温かみのある集団、人間関係づくり
- ◇チーム仁多中、組織としての取組の充実